



近一だより

重点目標
主体的に学び
互いに認め高め合う
子どもの育成
～やってみよう
自分から 自分たちで～

旭川市立近文第一小学校

令和7年度 第6号

令和7年9月30日発行

見方を変えて、子どもの成長を支える

校長 安藤 陽

4月に新年度がスタートしてから半年が経ち、令和7年度の教育活動も折り返しを迎えます。これまで多くの教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本日、通知表「あゆみ」を子どもたち一人一人に担任から渡しました。「あゆみ」は、単なる成績表ではなく、学習や生活の様子を伝える「成長の記録」であり、これまでの努力の足跡を形にしたものです。ご家庭では、ぜひ子どもたちの頑張りやよさを見つけ、しっかり認めていただきたいと思います。そして、後期に向けた新たな目標づくりの材料としても活用していただければ幸いです。



ところで、「リフレーミング」という言葉をご存じでしょうか。直訳すると「枠組みを再構築する」という意味で、簡単に言えば「物事の見方を変えてみること」です。例えば、同じコップに水が半分入っている状態でも、「もう半分しかない」と捉えるか、「まだ半分もある」と捉えるかで気持ちは大きく変わります。

子どもの姿も同じです。「落ち着きがない」と見える子は「元気いっぱい好奇心旺盛」と言い換えることができます。「慎重すぎる」と映る子は「丁寧に責任感がある」と考えることもできます。欠点と思えるところも、視点を変えれば長所として捉え直せるのです。

失敗したときも同じです。「自分はダメだ」と考えるのではなく、「次に活かすための大事な経験をした」と捉えることができれば、子どもは前を向いて次の行動につなげやすくなります。リフレーミングは、子どもたちの気持ちを前向きにし、自信や意欲を育てる大切な手だてです。

家庭でもぜひ、お子さんの姿をリフレーミングの視点で見つめ直していただければと思います。「短所」と見える部分の中にも、その子らしい「よさ」が隠れています。そのよさを見つけて言葉にしてあげることによって、子どもは安心し、自分らしさを大切にしながら成長していきます。

学校でも、一人一人の子どもを多面的に見つめ、その子らしさを生かす教育に努めています。保護者の皆様、そして地域の皆様とともに、子どもたちのよりよい成長を支えていけるよう、今後も連携してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



PTA活動 ～いつもありがとうございます！～

毎月の交通安全指導では、多くの方にご協力いただきありがとうございます。しかし、最近は場所によっては対応できないところが出てきています。これからの季節は、気温の低下や路面の凍結などにより、登校時の安全面で心配なことが増える時期です。子どもたちが安心して登校できるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

また、今年で75号目となる広報誌「灯」については、原稿依頼や編集作業でのご協力をお願いする予定です。

お忙しい中とは存じますが、少しでもお力添えいただければ、安全で安心な学校づくりにつながります。ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



地域とともに広がる学び

9月は、多くの方々のご協力をいただき、体験を通した学習を行うことができました。実際に見て、聞いて、活動する中で、教室では得られない貴重な体験に触れる子どもたちの目は輝き、生き生きとしていました。

今後も地域の皆さまと連携しながら、子どもたちの学びをさらに広げてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【今月の校外学習】

- 9/3・4 5年宿泊学習(大雪青少年の自然の家)
- 9/ 5 4年ダミー実験会(交通安全協会)
- 9/10 3・4年社会科校外学習(カンディハウス)
- 9/11 1年生活科校外学習(旭山動物園)
- 9/16 2年むかし探検塾(百寿大学、東鷹栖公民館)
- 9/18 1年むかし探検塾(百寿大学、東鷹栖公民館)



↑板をバーナーで炙って…



↑運転席からの死角を体感！



↑あやとり挑戦中！



↓家具の製作現場を見学！



↑おそろおそろ、



↑お見事！
入った瞬間です！

来月は、北海道モビリティスクールさん、光岸寺さん、セブンイレブン旭川東鷹栖一条店さんにお世話になります！

ご理解とご協力のお願い



教職員の不祥事に関わるニュースを受け、写真撮影やその取扱い等に不安を感じておられる方もいらっしゃるかと思います。

本市では、児童が活動する場(教室・体育館など)へ教職員の私物端末を持ち込むことを原則禁止しております。

本校でも、写真撮影は学校で管理しているデジカメやタブレットのみを用いて行っています。なお、緊急時(校外学習や熱中症対策など)の連絡等で、私用端末を使用する場合がありますことを、ご了承ください。

これからも子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。